

夢の「たね」

人権ってどんなこと？ 自分にできることは？

11/25 全校朝礼より

じんげん 人権ってなんだろう？

だれでも じぶん 自分らしく
しあわ い けんり 権利
幸せに いきる 生きる
まもらなければならない

あのこも このこも みんな幸せ 自分らしく 生きる



きもち
どんな気持ちになれば、
じぶん しあわ
自分らしく 幸せに
い
生きているのだろう？



ちいさな ちいさな ゆめのたね だいちのえいよう すいにんて
みんなの「好き」をうやめて、べんきよう うんどう あそび
いろいろなことを ぜりよくて

ちいさな ちいさな ゆめのめが ほっこりこっこり かおだした
「こうきんのめ」がでて せいちょうする うれしくなる

ぜったいに じゃまをしない

①いじめをしない・させない

ともだち なま むし
友達をからかわない。仲間はずれにしない。無視しない。
ともだち い
友達が嫌がることをしない。

わら い
笑っていてもぼんとうは嫌なのかもしれない。
おとな ぞうだん
いじめがあったら、大人に相談する。



②「ちがいを」大切にする

ひと ちが かんがえかた
人はひとりひとり個性や考え方がちがう。
しんぶん う
自分との「ちがいを」受け入れる。

なかな い
だれとも仲良くなれる。
かんが は
あたらしい考えや発想がうまれる。
おな い
みんな同じじゃつまらない。ちがうからおもしろい。



しばねしょう
芝根小のみんなひとり
ひとりが

じぶん しあわ
自分らしく 幸せに
すごせるように



人権ってなんだろう？それはだれでも自分らしく幸せに生きる権利です。この権利は、必ず守らなければならないし、守られなければならないことです。ちょっと難しいので、次の絵を見てください。

ここに「大きい子や小さい子、細い子、背が高い子、肌の色が違う子、出身の国が違う子、違う言葉話す子」いろいろな子供たちがいますね。そのすべての子供たち（大人も含めて）一人一人がそれぞれ、みんな幸せで、自分らしく生きていけるということです。

じゃあ、一人一人がどのような気持ちになれることが、自分らしく幸せに生きているということになるのだろう？と校長先生は考えました。

みんなが次の音楽集会で「夢わかば」を歌いますよね。その歌詞がちょうどわかりやすそうだったので紹介します。「ぼくらは うまれて よかったよ」「ぼくらを うんでくれて ありがとう」という歌詞がありますね。みんながこの気持ちになれば「自分らしく幸せに生きている」ことになると校長先生は思いました。さらに、「ちいさなゆめのたね だいちのえいようすいこんで」の歌詞は、みんなの「好き」を増やして、勉強や運動、遊びなどいろいろなことを全力で取り組むだと思いました。さらに、その次の歌詞には「ちいさなゆめのめが ほっこりこっこりかおだした」とあります。これは「好奇心の芽」が出て成長していくことだと思いました。いつも芝根小で大切にしていることが、自分らしく幸せに生きることにつながることにつながっています。だから、「夢のたね」を見つけて、「好奇心の芽」を育てることを邪魔することは人権が守られていないことになってしまいます。

そこで、人権を守るために、「夢のたね」を見つけて、「好奇心の芽」を育てることを邪魔しないようにするために、自分たちができることを紹介します。

- ① いじめをしない、させない：友達をからかったり、仲間はずれにしたり、無視をしたり、嫌がることをしたりしない。もし笑っていたとしても、本当は嫌なのかもしれないと思うことが大切です。何かあったら、先生やうちのの人に相談しましょう。
- ② 「ちがいを」大切にする：人はひとりひとり個性や考え方がちがう。自分との「ちがいを」受け入れる。みんな同じじゃつまらない。違うからこそ面白いし、新しい考えが生まれてくるんです。

11/25～12/5 まで人権週間です。

芝根小のみんな一人一人が、自分らしく、幸せに過ごせるようしましょう